

校舎全面改築特集

上田千曲高校同窓会報

発行所
長野県上田市中之条626
上田千曲高等学校同窓会
TEL 07070 7386
代表表 瀧崎 隆 社
印刷所 秀 信



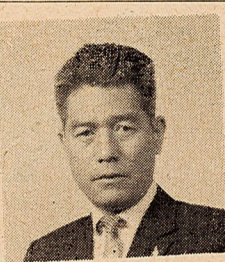
校舎改築を前に

上田千曲高等学校校舎
改築期成同盟会長
上田市長 小山 一平

いまわしい戦争の思い出からすでに三十年近くはなるといえます。日本の経済は急速に発展し社会資本の充実がめざましいものがあります。こんな時代に、旧陸軍飛行学校の古い校舎が、上田千曲高等学校の校舎に使われているというのには、信じられないほどの古い話だと思えます。

体育館や校舎は一部木造建てで新築されたのでありますが、昭和二十三年当時は、飛行場の大格納庫を講堂や教室に仕切って使った苦難の時代も思い出されます。その昔、日本の先覚者が寺子屋で学び、学問を深め、時代に君臨したことはありますが時代の進んだ今日、教育施設の整備は、教育行政に不可欠の要件であります。

とくに上田千曲高等学校は、かつて上田市立として上田市が直接運営にあたっていた学校であり、本校の改築は、学校関係者はもちろん市民全部の切実な願いであります。こうした要望を背景に、期成同盟会が足踏したのは昭和四十五年九月ですが、その二年にわたって関係者へ再三にわたって、実情を強く訴えてきましたところ、ようやく改築が決まりました。本年秋に着工の運びとなり、誠に喜ばしいことであり、果ならぬに關係に深くお礼を申し上げます。



改築に全面協力の態勢で

昭和二十年三月商業科卒業
同窓会長 滝崎 隆

同窓生の皆さん、全国各地のそれぞれの職場において活躍のこのとお慶び申し上げます。早いもので、私も同窓会長という大役をお引き受けから一年を過ぎました。もとより浅学の身であり、なにもできぬままに過ぎてしまいました。が、なかなか大々的な仕事であると感じております。

本年は、母校全面改築の初年度であり、関係機関を通じての促進に取り組みべく期成同盟会が発足し、具体的活動に入っていることとほすで、ご承知のとおりであります。私達同窓会も全面協力の態勢を敷き、県下一の職業教育を誇る加藤建設のために、最大の努力をいたしたいと考えるものであります。

つい最近まで、技術者養成の花形として人気を集めてきた職業課程の県下の高校が、ここへきて急速に志願者が下降線をたどり、急激に減少しております。私達の母校も例外ではありません。さまざま理由が上げられますが、急速な技術革新のなかで、実業高校を出たからといって、かつてのように専門教育を受けた技術者として高く評価されることが少なくなりました。職業教育を軽視する社会的な風潮。高校だけで満足できない

として高く評価されています。しかし、校舎も校舎も幾たびか建て替わったように上田千曲高等学校の沿革は苦難の道であり、今日の輝やかな歴史を築くまでに至ったわけには、歴代関係者の血のにじむ苦勞のあったことを忘れることはできません。

いま、上田千曲高等学校は、県

生徒が、さらに高等教育を受けようとしたときに、非常に不利な条件に置かれる。など、幾多の問題点をかかえるなかで、私達の母校千曲高校は「質的に高い職業教育」一即ち、いすれの職業分野にも適応できる学理的素養の育成を重視する教育ビジョンをかかげて全面改築を進められることは、同窓会としても喜びにたえないところであります。重ねて同窓生諸氏の最大限のご支援とご協力をお願いする次第であります。

次に、本年こそは支部組織の拡充強化に努めたいと思っております。一部の役員だけの同窓会では

かくして三年後には、総工費七億三千万円を要して、すばらしい校舎が完成する予定であります。清々しい千曲川のほとりに建つしよしの学園は、県下でも屈指の規模を持ち、教育文化都市をめざす上田市の誇りとして、教育振興に大きな役割を果すことを今から期待しております。

いまや上田千曲高等学校の同窓生は、一万二千人に達し、上田市はもとより、東信地方から多くの向学多才の若人を迎え、実業高校

母校校舎全面改築 賛助会費募集に ついてお願い

同窓生として 学校の御恩に 報いたい

千曲高校にとって正に歴史的な全面改築が今年度着工されますがここにこぎつけるまでの同窓会の努力、支援、協力は多大なものであります。

長野県下高校のうちで総工費七億数千円という大規模なものはいまだかつてなかったことで、そこに寄せられる期待がいかに大きなものであるかがうかがえます。これほどの巨額が投せられるの

多く、多くの職場から、そして地域から代議員を送っていただき、話し合いの場をのぞき活動を進めることが必要であると思存しております。同窓会を充実させ、満ちた、支え推進していくために、同窓生一人ひとりの意見が、民主的な方法で充分討議しつくされ、その結果まとまった意見こそ決定的な同窓会の推進につながるものと信じております。どうぞご都合をつけて九月に開催されます総会には是非ご出席いただき、ご意見を賜わりますようお願い申し上げます。

このほか同窓会名簿の正誤表の発行等もいたしたいと考えております。

本年も同窓会のためにご尽力いただき、諸先生方に敬意を表しながら、同窓生皆様方ますますご健康とご多幸を祈り、合せて更に大躍進されんことを期待申し上げます。ごあいさついたします。



全面改築の スタートにあたって

学校長 庄田 文雄

同窓会新聞を発行するにあたり学校の近況を申し上げて御挨拶に代えたいと思っております。

近況です。第一に申し上げなければならぬのが校舎改築であることと存じます。この改築については昨年の同窓会新聞でも申し上げましたが、最終的にこの三月、全面改築のプロジェクトが決定致しました。この新聞で出来るだけ詳細にそのプランを皆様にお知らせしようと思っております。

さて、このプランは校舎に新しく校舎を建築し、現在の校舎は全部取り壊して校庭にすることになっております。総工費七億三千万円という大規模なものです。それに本校の建物はその多くが古いものでバラックのようなものですが、工場関係の建物には新しいものも幾つかあり、これには国の予算が入っており、取り壊す場合はこの全額を国に返納しなければなりません。こうしたことを考え

昭和四十七年度 母校職員異動

御退職

社会科 清水俊一先生
本校御退職 二十三年間
職業指導主事・機械科
塩入高雄先生
本校御退職 十九年間
(常勤講師として引継ぎ勤務)
家政科 香掛ひで先生
本校御退職 十八年間
(常勤講師として引継ぎ勤務)
英語科 室賀忠天先生
本校御退職 八年八月月間
職業指導主事 横塚和子先生(旧姓、宮下)
本校御退職 七年間
商業科 長野専美先生
本校御退職 一年間

昭和四十七年度 総会開催のお知らせ

上田千曲高校同窓会
◎日 時 昭和四十七年九月十七日(日) 午前十時より
◎会 場 上田千曲高校会議室

議題
一、昭和四十六年度事業・決算報告
一、昭和四十七年度事業・予算案審議
一、母校校舎全面改築に関する件
一、その他

九月十七日当日は、母校で千曲祭が行なわれておりますので総会の前夜で各種催し物や研究発表など御覧になれます。どうか多数の同窓生が御出席下さいますようお願い申し上げます。

同窓会長 滝崎 隆

御新任

英語科 柳橋 透先生
本校御退職 四ヶ月間
国語科 佐藤百合子先生
本校御退職 十一ヶ月間
国語科 新海曳李先生
本校御退職 二ヶ月間

御転任

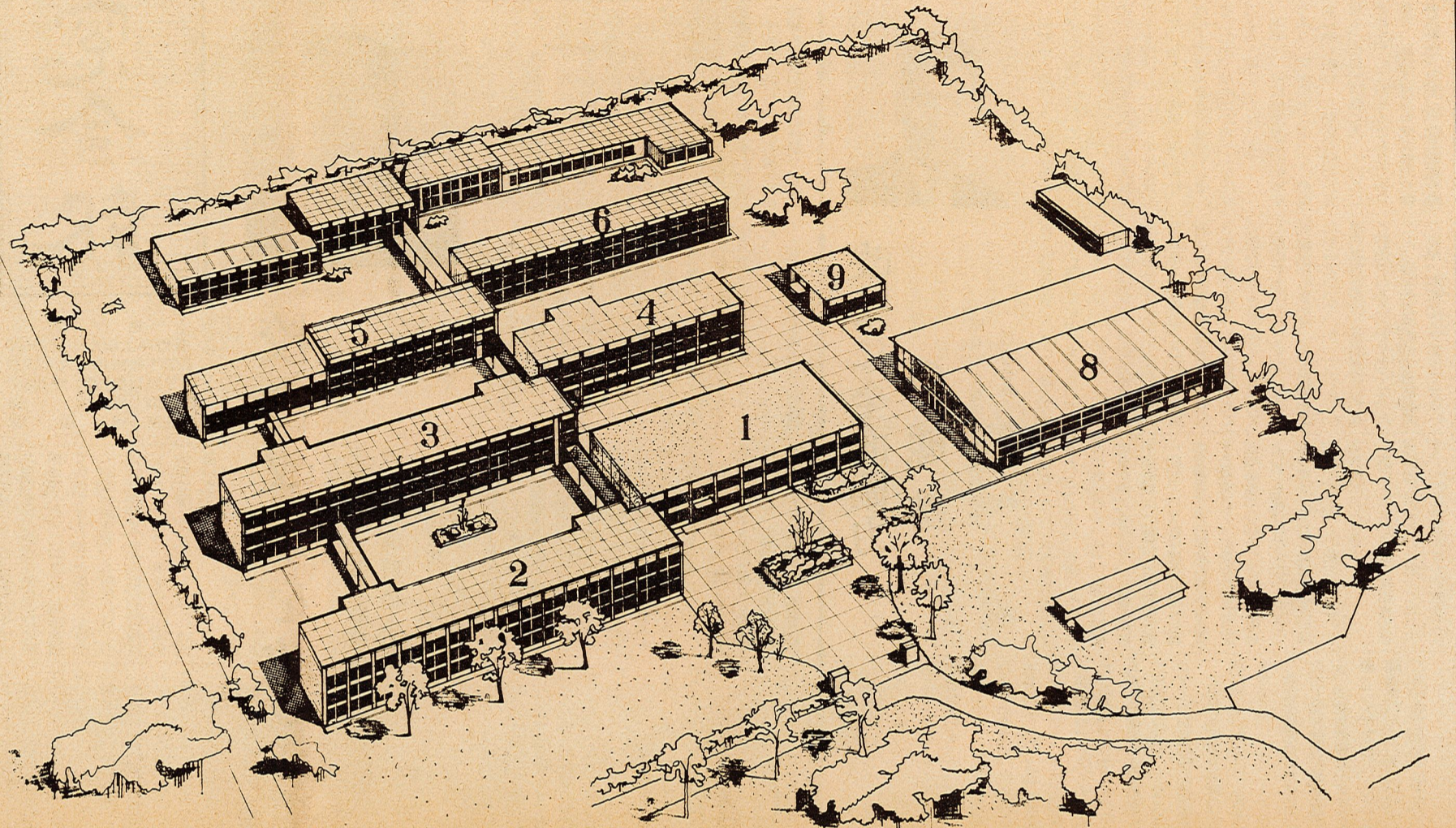
英語科 室賀忠天先生
本校御退職 八年八月月間
職業指導主事 横塚和子先生(旧姓、宮下)
本校御退職 七年間
商業科 長野専美先生
本校御退職 一年間

新任

家政科 堀内文子先生
本校御退職 七年間
丸子実業高等学校へ
英語科 北川 一平先生
本校御退職 四年間
岡谷南高等学校へ
理科 竹内賢三郎先生
本校御退職 一年間
軽井沢高等学校へ

教頭 曲淵 博先生
諏訪実業高等学校教頭より
定時制主事 丸山 治先生
長野工業高等学校より
国語科 瀧沢治恵先生
上田桑谷丘高等学校より
国語科 横関健彦先生
小東東部高等学校より
数学科 浦沢規裕先生
犀峯高等学校より
数学科 小金展展先生
坂城高等学校より
理科 仲沢利文先生
須坂高等学校より
社会科 田中美紀夫先生
東北大学を卒業されて
英語科 川上幸治先生
犀峯高等学校より
英語科 柳沢 良先生
非常勤講師として
機械科 宮下仁智先生
岩村田高等学校より
商業科 小林三夫先生
丸子実業高等学校より
職業指導主事 小林和子先生
本校を卒業されて

長野県上田千曲高等学校 校舎完成予想図



上田千曲高等学校校舎改築概要

番号	棟	面積㎡	内 容
1	管理棟	1458.00	校長、事務、教務、保健、職員、放送、会議、応接、視聴覚、図書館
2	ホームルーム棟	2207.25	特別教室、普通教室
3	ホームルーム棟	2207.25	普通教室
4	商業・家政棟	1359.00	商品、簿記、文書、タイプ、商実、保育、調理、被服
5	建築棟	1242.50	木工実、材料実、構造実、設備実、計画実、製図、模型、標本
6	電気棟	1410.75	工事实、工作、電力、変電、計測、機器、電子、自動制御、製図
7	機械棟	1958.00	計測、流体、材料、熱機関、仕上組立、精密、機械、板金、溶接、鍛造、鋳造、製図
8	体育館	1420.00	体育、格技
9	音楽室	150.00	音楽
	その他		プール、グラウンド、テニスコート、バレーコート

合計 13412.75㎡

自動車部品  専門メーカー

主要製品

- ドアウィンドレギュレーター
- ドアロック
- フードヒンヂ
- その他ボデー廻り機能部品
- 家庭用電気部品

中小企業合理化モデル工場

株式会社 城南製作所

取締役社長 馬場正敏

本社工場 長野県上田市蒼久保1185の1
TEL上田(5)1010テレックス3327-520
東京工場 東京都大田区大森南2-15-6
TEL(03)741-4201テレックス246-6580

タイヤに関するすべての
御取引・御相談は



長野ヨコハマタイヤ株

社長 宮 沢 巖

上田市産業通り1丁目
TEL (2) 3505 (代)

<経理・会計・税務相談>

長野合同
経理センター

上田市秋和939
電話(上田2-6101)

税理士 宮 沢 清 志
税理士 安 香 照 雄
税理士 長 井 久 雄

昭和46年度決算

長野県上田千曲高等学校同窓会（一般会計）歳入歳出決算書

金513,734円（歳入決算額）

金395,234円（歳出決算額）

金118,500円（歳入歳出差引翌年度繰越金）

昭和47年3月31日

歳 入

番号	項 目	決算額	予算額	増・減△
1	前年度繰越金	96,392	96,392	0
2	終身会費	395,000	395,000	0
3	終身会費	1,000	0	1,000
4	祝儀	2,000	0	2,000
5	新聞記載料	15,000	0	15,000
6	受取利息	4,017	2,000	2,017
7	預金解約利息	325	0	325
	合 計	513,734	493,392	20,342

注 番号2終身会費は新入会員、入学時395名分

番号3終身会費は転入学1名分

歳 出

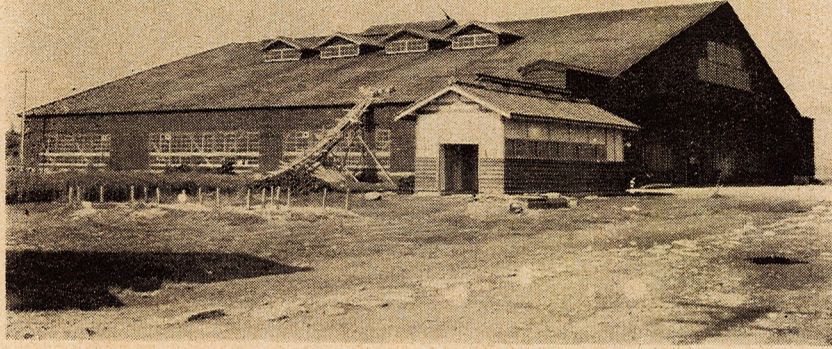
番号	項 目	決算額	予算額	増・減△
1	総 会 費	15,025	20,000	4,975
2	会 議 費	49,896	40,000	△ 9,896
3	旅 費・日 当	22,810	50,000	27,190
4	事 務 費	3,738	15,000	11,262
5	支 部 補 助 費	0	30,000	30,000
6	記 念 品 代	37,000	30,000	△ 7,000
7	新 聞 発 行 費	253,265	250,000	△ 3,265
8	予 備 費	13,500	58,392	44,892
	合 計	395,234	493,392	98,158

昭和47年度予算

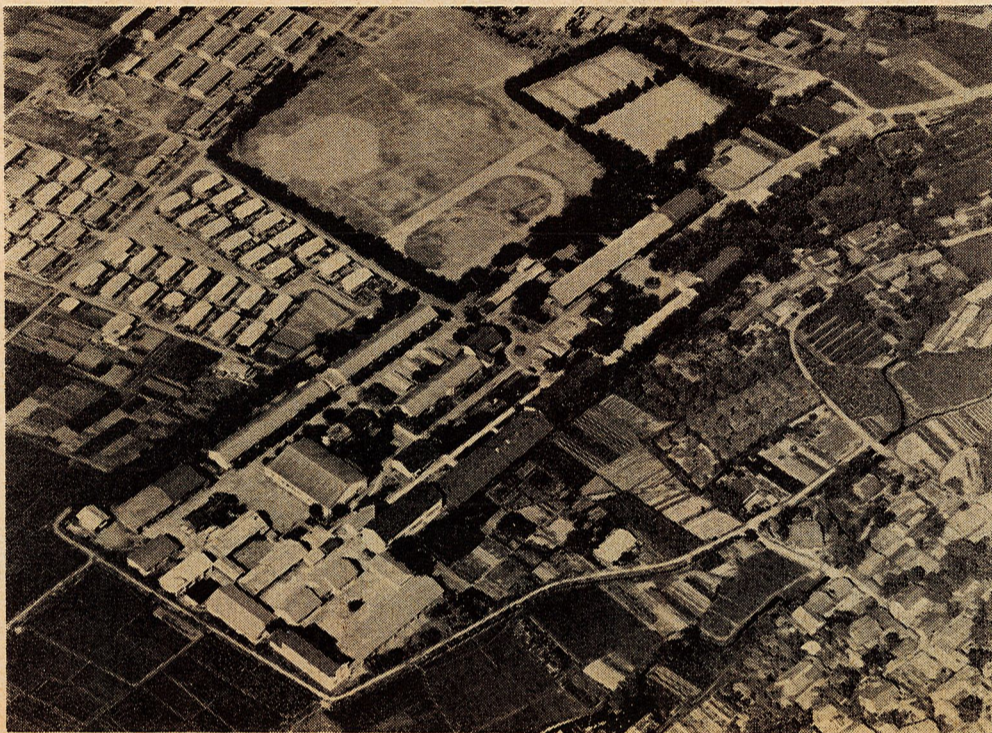
長野県上田千曲高等学校同窓会（一般会計）予算書

昭和47年4月20日

番号	収 入 の 部		支 出 の 部	
	項 目	金 額	項 目	金 額
1	前年度繰越金	118,500	総 会 費	15,000
2	終身会費	381,000	会 議 費	35,000
3	受取利息見込額	4,000	旅 費・日 当	40,000
4			事 務 費	10,000
5			支 部 補 助 費	10,000
6			記 念 品 代	60,000
7			新 聞 発 行 費	319,000
8			予 備 費	14,500
	合 計	503,500	合 計	503,500



移転当時の校舎（旧大格納庫）



最近の上田千曲高校

校舎
昔と今と

南極観測隊に参加して

（昭和28年機械科卒業）

日産自動車宇宙航空部実験課

竹内徳男



昭和二十八年春母校を卒業以来私は日産自動車で航空発動機のオートホールとロケットの開発業務に従事してきた。今まで多くのものを開発し、人口衛星が誕生するまでに至った。

ご承知のとおり昭和基地でもロケットによるオーロラ観測が計画され、私も今回第十二回南極観測

隊員としてこれに参加した。昭和四十五年十一月二十五日に晴海を出発して以来昭和四十七年四月二十二日帰国した次第である。

「ふじ」は昭和基地を目前にして氷原に阻まれ、三十九日間の立往生を続けたが、自力脱出の末やっと昭和基地に着いた。

ヘリコプターによる空輸作業を継続し、三月十七日越冬宣言をしたものの建設が遅れ、まもなく訪される冬に備えロケットの準備を行なった。

精密な観測器を積んだロケットは夜間のオーロラを待機したが、出方が悪く、幾日も待ってやっとの思いでロケットを打ち上げ、オーロラの観測に成功した。

昭和基地は十二月一日から一月二十二日まで夜のない夏で、気温は零度以上にも達する。これに反して、六月一日から七月十三日までには昼のない冬で零下四十度にもなる。

オーロラの本格的な観測は、夜ばかりの冬の期間で、冷たい夜空の輝きは神秘的で、色や型がいろいろに変わりその光景はすばらしいものであった。

昭和基地では三月から十一月にかけてプリサードという雪や氷を含んだ強い風が、普通月に二、三回、多い時には五回も吹き続け、時には秒速五十メートルにも達する。これが三日も四日も続き、視界が悪くて室内でじっと静まるのを待つ。

こんな時、隊員が観測のため戸外へ出る際は、命綱を頼りに歩くのである。

越冬隊員は毎日特定な人と顔を合わせているので、互に気分を損なう言葉を慎む様に努めている。十月頃になると昭和基地にも春が訪れ、雪解けが始まり、暖かかった北の海からペンギンが南にある昭和基地周辺の島にやってくる。ペンギンは巣作りをはじめ、十二月には雛をかえし、やがて北の海に去っていく。

ラジオやテレビ等のない基地は無線電報が唯一の情報源で生活が単調になる。楽しみが少ないから、いろいろなゲームに集中し特に映画が人气的だった。

すぎて見れば短かい一年間、し

かし時には日本に帰りたい気持ちにもなった。隊員は互に励まし合い乍らじっと堪え、翌年になって次ぎの隊員がやって来るまでの忍耐だと思い、皆自分の仕事に励んでいた。

一月一日に次ぎの隊が昭和基地にやってきた。日本から楽しい郵便物を運んでくれたので、それを受け取った隊員は日本を懐かしむ様に夢中に見入る。

一か月間第十三回隊員と共に基地建設を行ない、引き継ぎを終了して二月十一日帰艦した。

南極観測はますます発展の途にあり、越冬して観測している貴重なデータが我々の実生活に役立つ日も近い。

**尊い人命救い
長官表彰**

富山祥伸君逝く
（昭和47年電気科卒）

四月に会員になられたばかりの富山祥伸君が、人命救助で尊い命をおとされて県警本部長表彰をうけた。最高の表彰である警察協力章が贈られました。富山君は五月七日午後友人と散策中、中学生が千曲川に転落したのを目撃、助けようとして飛び込んだが急流で思うに任せず、流されながらも近くの人に声をあげておぼれていることを知らせたため、中学生は助けられたが富山君はそのまま、行方不明となり、翌日水死体となって発見されました。

葬儀が五月十二日に町民センターで県警を始め町長、会社社長、中高時代の同級生、野球部等多くの方が参列して、しめやかな中にも盛大にとり行われました。本会よりも花輪、基をおくって弔意を表わしました。たぐさんの弔辞が朗読されましたが、どれも富山君の実行力と勇気ある行為をたぐる言葉が聞かれました。広い会場が狭いほどに、いたたたくさんの参列者も、さん然と輝くいくつもの表彰状を始め、数多くの花輪と、祭壇いっぱい供物に見守られ、全員合唱の祝いの声におくられて富山君の霊は極楽浄土へと旅立ちました。

創業七拾五年
菓子・アイスクリーム・砂糖総合商社

株式会社 勉強堂本店

取締役社長 小出昭三

カネボウハリス }
明 治 } アイスクリーム代理店
ロ ッ テ }

本社 長野市東鶴賀町
電話 (0262) 34-2290 (代) -3
営業所 上田市材木町
電話 (02682) 2-4477

有限会社

田中バインダー

田中重信

上田市大手1-3-2
電話 上田 (2) 2266

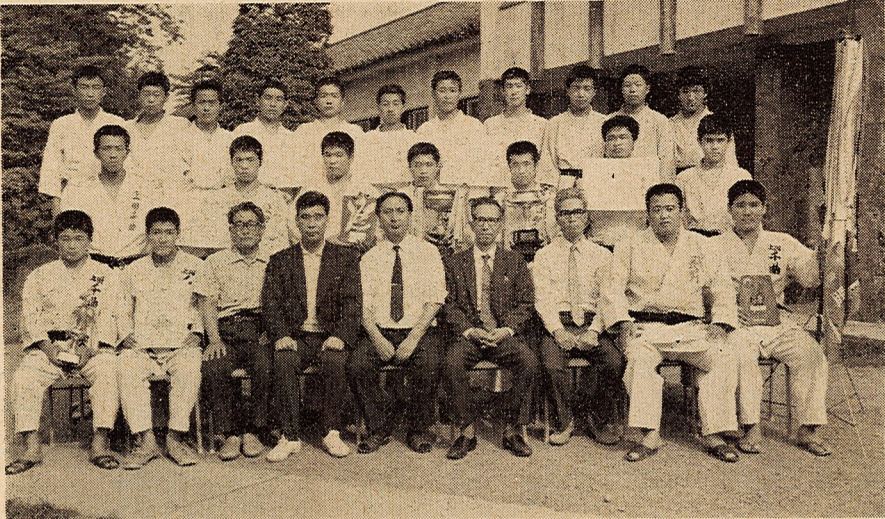
日本石油(株) 特約店
日本石油瓦斯(株) 特約店

株式会社 武重商会

営業 石油製品販売・冷暖房設備
本社 上田市下常田町 電話(2)6111代
支店 松本・長野
営業所 佐久・軽井沢・長野・松本・大町・伊那
給油所 上田・上田東・佐久・軽井沢国道・軽井沢
旧道・長野居町・長野バイパス・松本・松本南・松本村井
油槽所 上田・村井・伊那
プロパン充填所 坂城

スポーツ

長野県大会初優勝の柔道班



◎長野県高校総合体育大会東信地区予選
 男子▽準決勝
 丸手実 2-1 千曲
 ◆軟式野球◆
 ◆バレー◆
 ◆サッカ◆

男子、団体で準優勝
 千曲 2-0 上田
 △決勝
 岩村田 2-1 千曲
 ◆陸上◆
 (男子) 総合優勝
 100m 滝沢 11秒1 1位
 200m 滝沢 23秒9 1位
 400mリレー 千曲 3位
 1600mリレー 千曲 3位
 3000m 小林 2位
 3000m強歩 小林 2位
 砲丸投げ 岩崎 12m79 1位
 ハンマー投げ 宮島 3位
 やり投げ 田中 3位
 (女子) 総合第三位
 400m 長谷川 2位
 400mリレー 千曲 2位
 800m 長谷川 2位
 砲丸投げ 山崎 10m62 1位
 山崎 35m2 1位
 山崎 35m2 1位
 足立 3位

◆柔道◆
 強し、千曲健児
 (団体戦、東信大会優勝)
 △準決勝
 千曲 3-1 岩村田
 △決勝
 千曲 3-2 佐久
 (個人戦) 重量級
 △準決勝
 深井 合わせわざ 佐藤
 (千曲)
 △決勝
 岩下(北農) 優勝 深井
 ◆水泳◆
 (男子)
 100m平泳 竹下 3位
 200m平泳 竹下 3位
 100m平泳 柳沢 3位
 200m平泳 柳沢 3位
 400m自由形 滝沢 2位
 400mリレー 千曲 3位
 400mメドレー竹折 3位
 (女子)
 100m平泳 登生川 3位
 ※以上、県大会出場。このほか
 県大会出場者多数あり。副賞。
 ◎第17回長野県高校総合体育大会
 (兼、全国・北信越大会予選)
 ◆陸上◆ (6月)
 総合、男子五位
 女子六位
 (男子)
 100m 滝沢 10秒9 1位
 ※3メートルの追い風ながら県
 高校記録に0秒1に迫る好記録
 200m 滝沢 23秒5 2位
 砲丸投げ 岩崎 12m92 2位
 やり投げ 岩崎 47m50 3位
 (女子)
 100m 滝沢由紀夫 1位
 ◎第25回長野県陸上競技選手権大
 会 (7月9日・松本)
 (男子)
 100m 滝沢 11秒2 1位
 やり投げ 岩崎 56m52 2位
 (女子)
 砲丸投げ 山崎 34m76 1位

◎第54回全国高校野球地区予選
 東部高校を破り
 県大会出場なる
 代表決定戦 (7月16日)
 千曲 0003100000 4
 東部 0000010000 1
 (千曲) 松崎一三浦
 (東部) 丸山、小川、浅野
 上田千曲29646912380
 打点振球犠打失残併
 小東東部30415321071
 △三塁打 八木沢(千曲)
 △二塁打 松崎(千曲)
 千曲は四回表、二塁に尾崎、一
 塁に松崎を置いて七番八木沢が殊
 戦の三塁打を打ち試合の主導権を
 握った。
 春の北信越県大会で松商学園を
 苦しめ、前評判の高かった東部を
 一点に抑えたのは立派であった。
 また、手がたい、選球とままと
 たチームプレーが見られ県大会で
 の活躍が期待される。



期待の選選手

日本の一流選手へ
 陸上で大活躍する
 東急・源純江さん
 第35回東京陸上競技選手権大会
 (4月30日・国立競技場)
 女子五種競技で長野県記録保持
 者の源純江(東急)、362.4点
 をあげて優勝
 △五種競技 ①源純江362.4
 点②東(東大) 343.4点③内
 田(東女大) 335.2点
 第14回東日本実業団対抗陸上競
 技選手権大会(5月13日)
 △二〇〇m ①佐藤妙子(日立)
 26秒2②源純江26秒3③吉田
 (東急) 26秒8
 △一〇〇m障害 ①源純江15秒
 4②佐藤(リッカー) 15秒9③川
 澄(日立) 18秒1
 第56回日本陸上競技選手権兼ミ
 ンニオン・オリンピック代表選手
 選考会(6月3日・国立競技場)
 △一〇〇m ①山田恵子(日体
 大) 12秒3②土田(法大) 12秒4
 ③源純江

就職・進学
 状況
 進路指導主事
 大久保 勲
 来春の新規採用については、円
 切り上げ、過剰生産を背景に、好
 況業種と不況業種、同業種間の企
 業格差が比較的是きりしたことが
 特色と云えよう。
 繊維、化学、造船、鉄鋼などの
 各業種が新規採用を減少させたの
 に対し、自動車、不動産、商事な
 どの各業種は、新規採用が若干増
 加している傾向がうかがえる。ま
 た、建設業界は、企業側の設備投
 資の手控えから、土木事業に手を
 延ばし、全体としての求人計画は
 ほぼ前年並みとみられる。
 産業界の不況が長期、深刻化す
 るにつれて、雇用人数がかなり削
 減され、来春の卒業生に相当影響
 を与えるものと思っていたが、い
 きざり上げてみると若年労働力の
 不足と中小企業や特殊な企業の潜
 在的労働力不足は依然として深刻
 なものがあり、高卒者の求人につ
 いてはさして影響はないものと思
 われる。ただ労働力の質的向上の
 面から、今までのように量的な要
 求から質的な要求への転換が図ら
 れると思う。従来学業成績、面接
 身体検査だけで採用していた企業
 でも、今年は筆記試験を実施する
 企業が増加していることからも、
 前年よりある程度採用条件が厳し
 くなるような感じを受ける。己を
 知って、学業の道に励む者にこそ
 勝利の扉は開かれるであろう。
 昭和四十六年度の地域別進路状
 況は、別表のように各科の性格に
 よって違いはあるが、男女とも平
 均して県内就職が増加してきてい
 る。特に、女子は八八%が県内に就
 職している。産業別就職状況をみ
 ると、男子は各種製造業五六%、
 建設業二%、サービス業八%、
 女子は各種製造業四一%、卸小売
 業、サービス業とも一七%、運輸
 通信業八%となっている。進学希
 望者は年々増加の傾向を示し、前
 年比より二%多く、男子三三%、
 女子二五%に達している。

昭和46年度進路状況 昭47・4・10調

区分	卒業数	進路		就職							進学				
		進学	就職	県内	県外	その他	東京	神奈川	その他	中部	関西	西	進学	進学	
建築	40	10	29	6	0	4	0	3	13	1	0	0	2	13 (45)	16 (55)
機械	68	10	57	22	12	4	0	4	8	0	3	2	2	42 (74)	15 (26)
電気	72	21	50	12	3	3	0	6	15	2	2	4	3	24 (48)	26 (52)
商業	6	1	5	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3 (60)	2 (40)
男子計	186	42	141	42	15	12	0	13	38	3	5	6	7	82 (58)	59 (42)
商業	82	18	64	53	1	2	1	2	6	0	0	0	0	59 (92)	6 (8)
家政	80	23	56	39	2	4	0	2	2	1	2	3	1	47 (84)	9 (16)
女子計	162	41	120	92	3	6	1	4	8	1	2	3	1	105 (88)	15 (12)
合計	348	83	261	134	18	18	1	17	46	4	7	9	8	187 (72)	74 (28)

進路指導係
 竹中三千男
 一、進学希望者の増加
 年を追って進学希望者が増えて
 きました。
 進学希望者の全体に対する割合
 はおよそ次のような経過をたど
 ってきました。
 昭和三十年 約三%
 三十五年 約六%
 四〇年 約一〇%
 四五年 約一〇%
 四六年 二六%
 四七年 三五%
 本年度三年生の進学希望の内容
 は大体次の通りです。(四月二〇
 日現在)
 四年制大学 男四七 女六
 短期大学 〃五 〃二七
 大学二部 〃一〇 〃二〇
 各種学校 〃五 〃二〇
 志望校未定 〃二 〃六
 小計 〃七九 〃四九
 合計 一八八(三五%)
 二、どの大学に合格したか
 なかなかきびしい情勢ですが四
 十七年三月卒業生と過年度卒業生
 中判明しているものについては左
 の通りです。
 学校種別 男 女 過
 四年制大 一四 一一〇
 短大 二 二六 〇
 大学二部 一〇 三一
 各種学校 三一 一一
 小計 二九 一四二
 過年度卒業生については約六〇
 名位出願していますが学校へ連絡
 がなくわかっていないものが多数
 あると思われまます。
 合格したおもものは次のよう
 な大学です。(各種学校も含む)
 信大(繊維)、千葉大(園)、
 室蘭工大(建)、芝浦工大、
 東京電機大、日本工大、相模工大
 多摩大、専修大、法政大、東海
 大、金沢工大、
 中京女子短大、飯田女子短大、
 駒沢女子短大、日本女子衛生短大
 長野保育専門、佐久高等看護学院

編集後記
 この同窓会報の発行に際して、
 多くの方々の御協力を得ましたこ
 とを深く感謝申し上げます。係